地域のみなさまとともに ～地域社会の持続的な発展に寄与するために～

地域貢献に関する考え方

京都銀行では、創業以来「地域社会の繁栄に奉仕する」を経営理念として掲げ、地域の産業育成や環境問題への取組み等さまざまな形で地域貢献の役割を担ってまいりました。

金融情勢や社会環境の変化によりお客さまのニーズはますます多様化しておりますが、地域金融機関における本来の役割は、本業である銀行業務を通じて地域経済･社会の発展に貢献していくことであるとの認識のもと、地域とともに持続的な発展を目指してまいりたいと考えております。

また、地域の皆さまからのご理解と信頼を得られますよう、当行の取組みについて情報を開示してまいります。

地域の定義

京都銀行は、本店を置く京都府とそれに隣接する滋賀県、大阪府、奈良県、兵庫県の二府三県において、地域に密着した営業を展開しております。

本誌における当行の地域の預金･貸出金等各種計数につきましては、京都府、滋賀県、大阪府、奈良県、兵庫県内各店舗の合計で開示しています。

「地域密着型金融」の取組方針

地域密着型金融の基本方針ならびに中期経営計画における位置付け

当行は、地域密着型金融の基本方針を「積極的なコンサルティング機能の発揮により、中小企業者の経営安定･成長発展を支援し、地域経済の活性化に貢献する」と定め、積極的に地域密着型金融の推進をはかってまいりました。

平成26年度にスタートさせた第5次中期経営計画「ビジョン75 いい銀行づくり」（平成26年度～28年度）においては、企業の成長を促すコンサルティング機能の強化や地域経済の活性化支援等に取組むことにより「地域密着型金融の深化」をはかっております。

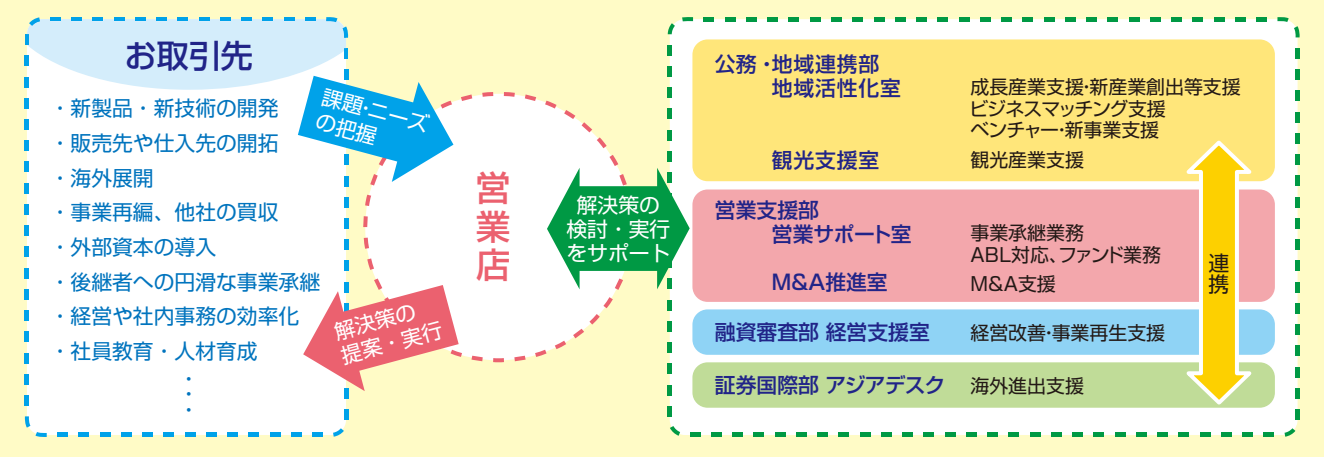
取組態勢

地域活性化･地方創生に関する専担部署「公務･地域連携部」をおき、地方公共団体ならびに地域におけるさまざまな関係団体等との連携を推進しております。

あわせて、営業店と本部各部が連携してコンサルティング機能を発揮し、地域の中小企業等に対する成長支援など、地域密着型金融全体につながる取組みを積極的に展開し、地域活性化を推進してまいります。

また、営業支援部に、法人･個人事業主向けの各種商品やグループ会社取引等を推進する「営業サポート室」をおき、事業性の取引を一体的に推進する体制を整えております。

加えて、経営基盤･営業エリアが異なる地方銀行（当行を含む9行）が連携･協力する「地域再生･活性化ネットワーク」を活用し、従来単一の銀行ではできなかった、より付加価値の高いサービスの提供も行っております。



金融円滑化への取組みについて

当行では、「金融円滑化管理に関する方針」（※）を定め、全行をあげ金融の円滑化を推進しております。

これからも地域金融機関として、適切かつ積極的な金融仲介機能を発揮し、お客さまへの円滑な資金供給や資金繰りに関するご相談ならびに返済計画見直し等のご相談について、公正、迅速、丁寧な対応に努めてまいります。

（※）当行ホームページで公表しております。